

第5回理事会報告

- 日 時 令和3年4月28日（水）午後3時～同4時
- 場 所 歯科医師会館 8階801会議室（ハイブリッド開催）
- 出席者 <会 長> 住友雅人
- <副 会 長> 松村英雄、川口陽子
- <総務理事> 小林隆太郎
- <常任理事> 尾松素樹（オンライン）、神田晋爾（オンライン）、
石井信之、弘中祥司、古郷幹彦（オンライン）、
牧 憲司（オンライン）、村上伸也（オンライン）、
佐藤裕二（オンライン）、河野文昭（オンライン）、
宮崎 隆（オンライン）
- <理 事> 渋谷 鑛、佐藤真奈美、田上順次、大川周治、森山啓司、
早川 徹、浅海淳一、飯島毅彦、尾崎哲則、松野智宣、
野本たかと、鱒見進一、前田初彦、宮崎真至、阿南 壽、
富士谷盛興、今井 裕（全理事オンライン）
- <オブザーバー>
- 日本学術会議歯学委員会委員長
市川哲雄（オンライン）
 - 国際歯科研究学会日本部会（JADR）会長
森山啓司（代理出席、オンライン）
 - 日本口腔科学会理事長
片倉 朗（代理出席、オンライン）
 - 日本歯科総合研究機構主任研究員
恒石美登里（オンライン）
- 欠席者 <常任理事> 中村雅典、山下喜久
- <理 事> 安井利一

[議長 小林総務理事]

1. 開 会

松村副会長から、開会の辞が述べられた。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶がなされた。

3. 報告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

小林総務理事から、次の資料に基づき報告がなされた。

一般会務報告（令和3年1月20日～令和3年4月26日）

第5回常任理事会（令和3年1月20日開催）

第4回理事会（令和3年1月20日開催）

(2) 専門・認定分科会への情報提供

小林総務理事から、令和3年1月20日以降の情報提供項目22件について資料に基づき報告がなされた。なお、各分科会から届いた情報の活用、周知をより活発にするよう、次期執行部への引継ぎ事項とするとの言及があった。

2) 令和2年度学会会計収支決算

小林総務理事から、決算資料は、5月27日開催の日歯理事会にて確定する。日歯理事会終了後にメール送信し、報告予定である旨が伝えられた。

3) 令和2年度第24回日本歯科医学会学術大会会計収支決算

小林総務理事から、決算資料は、5月27日開催の日歯理事会にて確定する。日歯理事会終了後にメール送信し、報告予定である旨が伝えられた。

4) 会計現況報告

神田常任理事から、以下の資料に基づき報告がなされた。

令和2年度学会会収支計算書（令和2年4月1日～令和3年2月28日）

令和2年度学術大会会計収支計算書（令和2年4月1日～令和3年2月28日）

5) 第24回日本歯科医学会学術大会関係報告

松村副会長から、令和3年1月20日から令和3年4月26日までの第24回日本歯科医学会学術大会関係報告がなされた。本大会では、従来の大会とは異なり、参加登録がオンデマンド配信の最終日（10月31日）まで可能であることを是非周知いただきたいとの言及があった。

6) 令和4年度診療報酬改定に向けた医療技術評価提案書の提出について

小林総務理事から、以下のとおり説明があった。本年2月19日に医療技術評価提案の作成依頼の通知を発出し、3月16日に作成に係わる説明会を開催し、随時分科会の作成担当者からの相談を受けている状況である。なお、本日の会議終了後、厚生労働省担当官との医療技術評価提案の内容について打合せを行う予定である。各分科会から5月10日に提出いただき、歯科医療協議会にてブラッシュアップ後、厚生労働省へ提出予定である。

7) 選定療養に導入すべき事例等に関する提案・意見募集について

小林総務理事から以下のとおり説明があった。本年4月19日に厚生労働省から、日本歯科医学会へ提案・意見募集の依頼が届いた。4月22日に各分科会へ通知を発出し、5月25日が本学会への提出期限となっている。本学会で調整後、厚生労働省へ提出予定である。

選定療養については、医科においてもぶれが出てきているのが社会的な状況であるので、新執行部においてしっかりと議論をするべきであるとの言及があった。

8) 新型コロナウイルス感染症に関する調査への協力について

小林総務理事から、日本学術会議歯学委員会から、新型コロナウイルス感染症に関連した口腔の諸問題と対応を整理し、国民や他分野に発信するべく、本学会と共同での事業取り組みを行う旨の依頼を受け、共同実施した調査について概要説明がなされた。43分科会に口腔関連の諸問題及びその対応に関する調査協力依頼をしたところ、33分科会から回答があり、その結果を昨日、市川歯学委員会委員長宛てに送信した。

市川歯学委員会委員長から、これから解析をしながら学術会議と日本歯科医学会へ発出する文書案を作成し関係各位へ確認後、最終的な文書を作成したいと考えているとの発言があった。

9) 歯科医師によるワクチン接種について

小林総務理事から、日本政府からの歯科医師によるワクチン接種についての要請を受け、日本歯科医師会から、都道府県歯科医師会会長宛ての連絡文書について報告がなされた。今後、厚生労働省から日本歯科医学会に教育動画作成の正式な依頼が届く予定である。

飯島常任理事から、厚生労働省から実技講習の講師を出せるか等の問い合わせが来ている。教材についてはスピード感をもって作っていないかなければならない方向であるが、既にある筋肉注射の教材を活用する方向となっているのか？との確認があった。

小林総務理事から、厚労省から正式な文書が届いていないため日本歯科麻酔学会と日本口腔外科学会にご相談する前段階であるが、1日1万人接種目標、スピード感が求められている。日本口腔外科学会の桐田理事長にも現状報告を昨日行ったとの説明があった。

渋谷理事から、打たれる人に同意を得るという項目がある。非常にデリケートな問題がふくまれる。歯科医師が打った際に偶発症が出た時に歯科医師が加害者とならないような文章を整えていただきたいとの発言があった。

住友会長から、全ての被接種者は同意を得ているということになるとの発言があった。

10) その他

▶ 日本学術会議報告

市川哲雄歯学委員会委員長から、先週総会が開催され、任命拒否問題等に関する様々な議題について協議を行った。今期の活動について、日本歯科医学会にはコロナに関する調査にもご協力いただき、今後とも様々な依頼をさせていただく予定であるとの報告がなされた。

▶ 国際歯科研究学会日本部会報告

森山啓司副会長（日本歯科医学会理事）から、中村会長の代理として次のとおり報告があった。1点目は、2027年に開催予定の第105回IADR総会の開催地を日本に誘致したいと考え、JADR内に誘致準備委員会を設置した。同委員会に日本歯科医学会から川口副会長にご参画いただいている。2点目は、第69回JADR総会学術大会が10月24日から25日にかけて九州大学で現地開催予定であるが、ハイブリッドやオンライン開催の可能性も含めながら準備を進めている。3点目は、IADRの5つのregionの中で日本はAsia Pacific Regionに所属しており、中村会長はこのアジア太平洋支部の会長も併任されている。その活動として若手の研究者を集めたオンライン形式のフォーラムが開催しており、本年5月17日に第4回目のフォーラムが開催予定である。また、シニアリサーチフォーラムの開催も検討中である。4点目は、現在IADRが機関会員制度の促進を行っている。5点目として、本年6月21日～24日に第99回IADRが全面オンライン開催となった。

▶ 日本口腔科学会報告

片倉朗副理事長から、中村理事長の代理として、次のとおり報告があった。本年1月4日に、一般社団法人日本医学会連合からCOVID-19 expert opinion 第2版が公開された。第1版には口腔科学会からの意見はでていなかったが、第2版については、日本医学会連合に働きかけ、歯科からのCOVID-19について、特に一般歯科診療所の対応と医科歯科連携について記載している。

▶ 日本歯科総合研究機構報告

恒石美登里主任研究員から特に報告事項はないとの発言があった。

4. 議 題

1) 令和3年度専門分科会助成金等の配分について

小林総務理事から、日本矯正歯科学会、日本歯周病学会、日本老年歯科医学会が会員数増加のため、594,000円増額となった。それ以外は、昨年と同額である。また、認定分科会が「18学会」から「20学会」に変更になった旨の説明がなされ、審議の結果、全会これを承認した。

2) 第105回臨時評議員会の開催（議案）について

○小林総務理事から、第105回臨時評議員会の日程（開催日時：令和3年6月7日（月）午後2時）について諮られ、審議の結果、全会これを承認した。

○小林総務理事から、第1号議案 「日本歯科医学会役員（学会会長）選挙」について諮られた。本学会役員任期は令和3年6月30日をもって満了することに伴い、次期学会会長の選出をするための議案である。

なお、4月21日に立候補の届出を締め切ったところ、住友雅人先生1名の立候補者の届出があった旨の補足説明がなされた。審議の結果、第1号議案に上程することを承認した。

3) 第105回臨時評議員会の運営について

小林総務理事から、Zoomミーティングを用いた運営方法、審議方法、採決方法等について諮られ、審議の結果、全会これを承認した。

5. 閉 会

川口副会長より閉会の辞が述べられた。